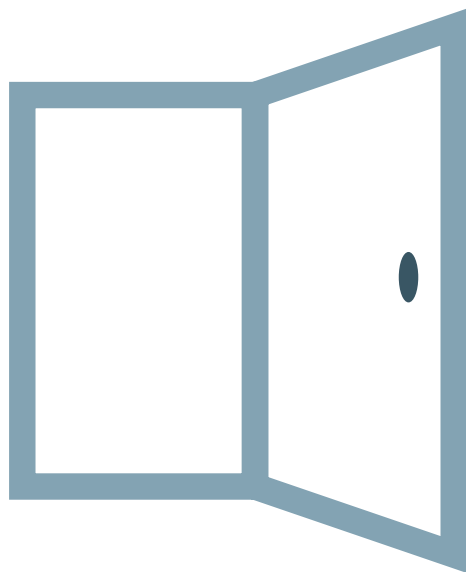


# 小嶋歯科医院は 変わります。

—小嶋歯科医院からのご案内—



「自分研究—自分療法」を提案します。

# 小嶋歯科医院は、なぜ変わるのでしょうか。 そして、どう変わるのでしょうか。

こんにちは。

小嶋歯科医院院長、小嶋 敦です。

私は「患者さんが本当に求める医療」を行うために、  
自分の歯科医院を変革することに致しました。

この冊子は、変革のご案内と内容をご説明するために作成したものです。  
ご一読頂ければ幸いです。

## CONTENTS 目次

小嶋歯科医院は、なぜ変わるのでしょうか。そして、どう変わるのでしょうか。……………	2
小嶋歯科医院は、口の中だけを診る診療をやめます。……………	9
原因は、あなたの体の外にあります。……………	11
病気や症状は、影響を受けたことの結果です。……………	13
重力の影響……………	14
重心の浮き・沈みの影響……………	16
こんなさまざまな現象とどう付き合えばいいのでしょうか。……………	18
「読脳法」、それは脳が用意した答えをキャッチする方法。……………	20
生きていくことで起こるさまざまな悩みにも、答えは見つかります。……………	21
「自分の脳が用意した答えをキャッチする方法」を勉強しませんか？……………	23
「自分研究」勉強会に参加される前に「自分研究」プレセミナーで内容を紹介しています。…	25
勉強会に参加した方から、こんなメッセージが届いています。……………	27
小冊子や書籍のご案内……………	29
「自分研究」プレセミナー開催のご案内……………	30
新しい診療システムのご案内……………	31
当院の歯科治療の特徴……………	32
本冊子をご覧になった医療関係者の方へ……………	33

### 歯科医師としてのジレンマ。

私が歯科医師になったのは17年前です。この二宮の地に開業してからは10年が経ちました。開業に際して「患者さん側に立ち、誠意を持って対応する」をモットーに、丁寧な治療を心がけてきました。

しかし、丁寧な治療を行えば一人一人にかかる時間は長くなり、予約が二ヶ月先まで取れなくなってしまい、逆に迷惑をかけるという状況になってしまいました。そこで診療時間を延長することにしましたが、今度は自分の時間ばかりか家族と過ごす時間も無くなりました。

しかも、いくら丁寧な治療を行っても、保険診療制度によって決められた治療法や治療期間、治療回数、材質、薬剤等による治療には限界があります。症状が改善したように見えても、実は問題を先送りしただけで、再発や悪化、他の歯への悪影響を引き起こすということさえあるのです。さらに歯だけではなく全身に問題を波及させることもあるのです。それでも、患者さんが望め

ば行わないわけにはいかず「自分が求める医療」と現実とのギャップにジレンマを感じていました。

この治療体制下でどんなに手を尽くしても症状が改善しない患者さん達を「なんとか良くしてあげたい」と考え、いろいろな講習会や学会にも出席してみました。しかし、すべての人に効果があるような療法に出会うことはありませんでした。そして「ハウツーをいくら学んでも、良い治療にはならない」ということに気づきました。結局、解決法が見つからないまま保険診療を続ける他ありませんでした。



診療風景

### 娘が突然、難病に。

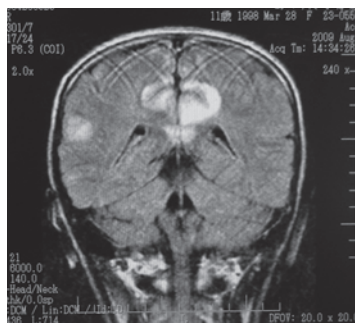
そんな状況を抜け出すきっかけになったのが娘の病気です。私には子供が4人おりますが、今年中学生になった長女が、突然歩けなくなったのです。それは昨年8月のことでした。診断された病名は多発性硬化症。難病指定されている原因不明の病気で、ステロイドの大量投与が基本的な治療法となっています。しかし、それで必ず良くなるという確証はありません。少しでも情報が欲しいと、インターネットを使って調べました。そして同じ病気の人達が再発の不安とステロイドの副作用で苦しんでいるということを知り、長期間のステロイド治療に不安をもちました。

娘はステロイド治療で少しは回復しました。しかし、娘がこれから再発の不安を抱えながら、副作用に苦しんで生きていくと思うと、私は不安で心が押しつぶされそうになりました。「これ以上ステロイド治療を受けさせたくない」

娘を守りたい一心で、病院に無理を言って退院させてもらいました。

### 納得できる治療を求めて。

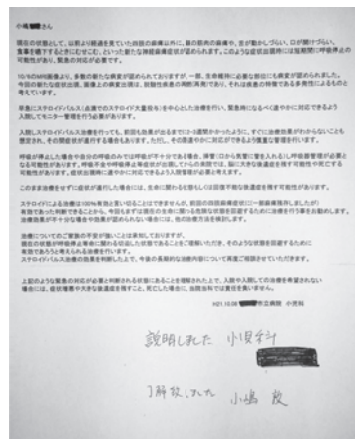
病院でリハビリを受けながら、自宅での介護を続けました。しかしその間に再発し、症状はどんどん悪化していきました。ついに声が出せなくなり、MRI検査を受けることになりました。



発症時のMRI画像

その結果「延髄に病巣が生じている。命にかかわるからすぐ入院して欲しい」と言われました。大いに悩みましたが、やはりステロイド治療に踏み切れない旨を伝えたとこ「病院には一切責任を問わない」という誓約書にサインすれば入院しなくてもいいということに

なりました。



病院に提出した誓約書

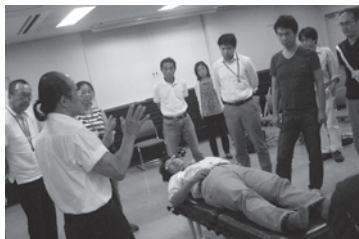
ところが数日後、「入院させないのは児童虐待の疑いがあるから話し合いの場を持ちたい」と児童相談所の職員が自宅に訪ねてきたのです。病院から通報が行なわれたのでしょうか。「医療を受けなければ強制執行する可能性もある」とまで言われました。もし強制執行されると、娘だけ連れていかれ、親権を取り上げられることもあります。そうなったら娘を守ることができなくなるのです。そこまでステロイドによる治療を強要され、もしその副作用で娘の

身に何か起こったら、それでも病気がよくならなかつたら、仕方がないと諦められるのでしょうか？ 納得できるのでしょうか？ そんなことは絶対に受け入れられません。私は、ステロイドを使わない治療ができる病院を探しました。これは、娘を守るための戦いだと思い、必死でした。そして、ようやく周囲の方々の協力で佐賀県のクリニックが見つかり、入院させていただきました。

### 答えはすべて自分の中に。

私がここまでステロイド治療を拒否したのは、伊東聖鎬先生との出会いが大きく影響しています。伊東先生が指導する「その人研究—その人療法」セミナーに参加したのは、2009年3月のことでした。伊東先生は「社会人生研究者」「生—システム研究者」であり、35年以上に渡り、医師・歯科医師・助産師・歯科衛生士・歯科技工士・看護師・治療家等の医療専門家に対して指導を行っ

ている人です。  
「その人研究—その人療法」とは、「病気や症状の原因や解決法はその人の中にあり、本人から直接情報を得て、その時その場でその人用の治療法を構築する。」というものです。つまり、一人ひとりに対するオーダーメイドの治療であり、その人の病気や症状の根本原因を突き止めるというものでした。それは、「誰に対しても同じようなやり方」というこれまでの歯科治療とは、まったく異なる考え方でした。



セミナー風景

受講当初は半信半疑だったのですが、伊東先生に娘をみて頂くうち、この療法の有効性が実感できました。「娘の情報を基に行なう治療こそ娘のための治療だ。このような療法なら可能性があ

る」と確信を持ちました。そして、「ステロイド治療は対症療法ではない。そんな治療で娘を苦しめたくない。娘の病気の真の原因を突き止める原因除去療法を行いたい」と考えるようになったのです。

#### ゆるぎない本当の幸せとは。

娘は、現在車いすを使っていますが、学校にも登校できるようになり、週に一度はリハビリをかねて伊東先生の研究所にも顔を出しています。死を覚悟した昨年と比べると夢のようです。私は偶然にも伊東先生と出会い、励ましや協力のおかげで娘の危機を乗り越えることができました。

一時は言葉も出せず、食事は流動食。両手足も動かず、排泄も思うようにできない、そんな状態でした。他人から見れば不幸で気の毒な出来事と思われるでしょう。しかし、娘の病気のおかげで「生きていく上で何が一番大切なのか」ということを私達家族は学ぶことができました。

いったい何を幸せというのでしょうか？ 何を不幸というのでしょうか？ 幸せや不幸を感じるのは自分です。自分しだいで、どんな状況・状態であっても幸せを感じて生きることはできます。それは「その人研究—その人療法」のおおもとにある「すべてのことに自分で責任を持つ」という考え方において可能なのです。そうすれば苦しみも辛さも、自分が生きている証として受け止めることができます。



車椅子で登校できるまで回復

#### 患者側に立った医療を求めて。

娘が病気になる前の私は、時間に追われて、すっかり余裕を失っていました。

そして、結果的に家族の病気のシグナルを読み取れませんでした。

しかも、そんな状態になってまでも患者さんのためにと思ってきた診療は、実は必ずしも患者さんのためになっていなかったのです。自分たちが患者の立場になって、初めてそのことに気づきました。娘の病気のおかげで、私は「人のせいにせず、自分で決断し、自分が責任をとる」という姿勢で生きることが、大切なだとわかりました。人任せにする限り不安は無くなりません。

難治な病気や症状、あるいは事故や災難で苦しんでいる方がたくさんおられます。日々不安を感じ、どうしたらよいかかわらず困っておられると思います。そんな方達に、自分の経験を活かし、お手伝いができたらと考えるようになりました。病気や症状は、それをきっかけに幸せをつかめるチャンスなのだということを伝えることができればと思うのです。これこそ、私が探し求めていた「患者側に立った医療」です。これまで私が行って来た保険診

小嶋歯科医院は、なぜ変わるのでしょうか。  
そして、どう変わるのでしょうか。

療は、「患者さんが本当に求める  
こと」に応えるための医療システ  
ムにはなっていません。

これから納得のいく医療を行うた  
めの診療システムを構築すべく、保  
険診療から新しい診療システムへ  
改革することに致しました。

医療現場は本来、人と人が触れ  
合う所であり、お互いに相手を尊  
重し、信頼関係を築く場だと思っ  
たのです。そんな医療を目指し、努  
力していきたいのです。

では、具体的にこれからどんなこ  
とを行なっていくのか、なぜそう  
するのかを、次ページより説明さ  
せて頂きます。

2010年7月

小嶋歯科医院 院長 小嶋 敦



現在の娘



娘の造ったオブジェ「歯の天使」

## 小嶋歯科医院は、口の中だけを診る診療をやめます。

なぜでしょう？

口の中だけを診ても良くならない症状が、  
あまりにも多いからです。

歯や歯ぐき、舌やあごに痛みや異常感があるのに、  
口の中には特に問題もないという人がたくさんいます。  
そんな人は、通常の歯科治療を行っても良くなりません。  
中には、口の中を触るほど悪くなる人もいます。  
また、歯科医院を何軒も回り、  
大学病院で診てもらっても良くならない、  
原因が分からないと言われた人もいます。



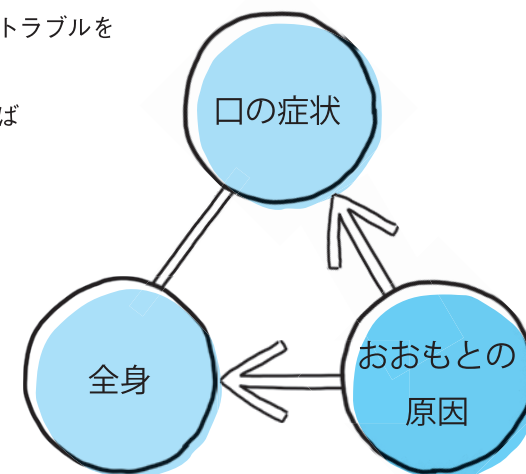
口の中の症状が、実は全身に関わっています。

歯科医院に通う人の中には、内科や整形外科、  
あるいは心療内科や治療院にも  
通院している人がたくさんいます。  
全身の症状が、実は口の中の症状と  
関連していることが多いのです。

どう関連しているのでしょうか？

それは、どの症状も原因が同じだということ。

多くの場合、症状のあるところ(患部)が原因ではなく、  
別のおおもとの原因があります。  
それが口の中や全身に、いろいろなトラブルを  
起こさせているのです。  
だから、おおもとの原因を解消すれば  
口の中の症状も、全身の症状も、  
同時に良くなっていきます。  
歯を削ったり抜いたり、  
神経をとったりしなくても  
治る場合が多いのです。



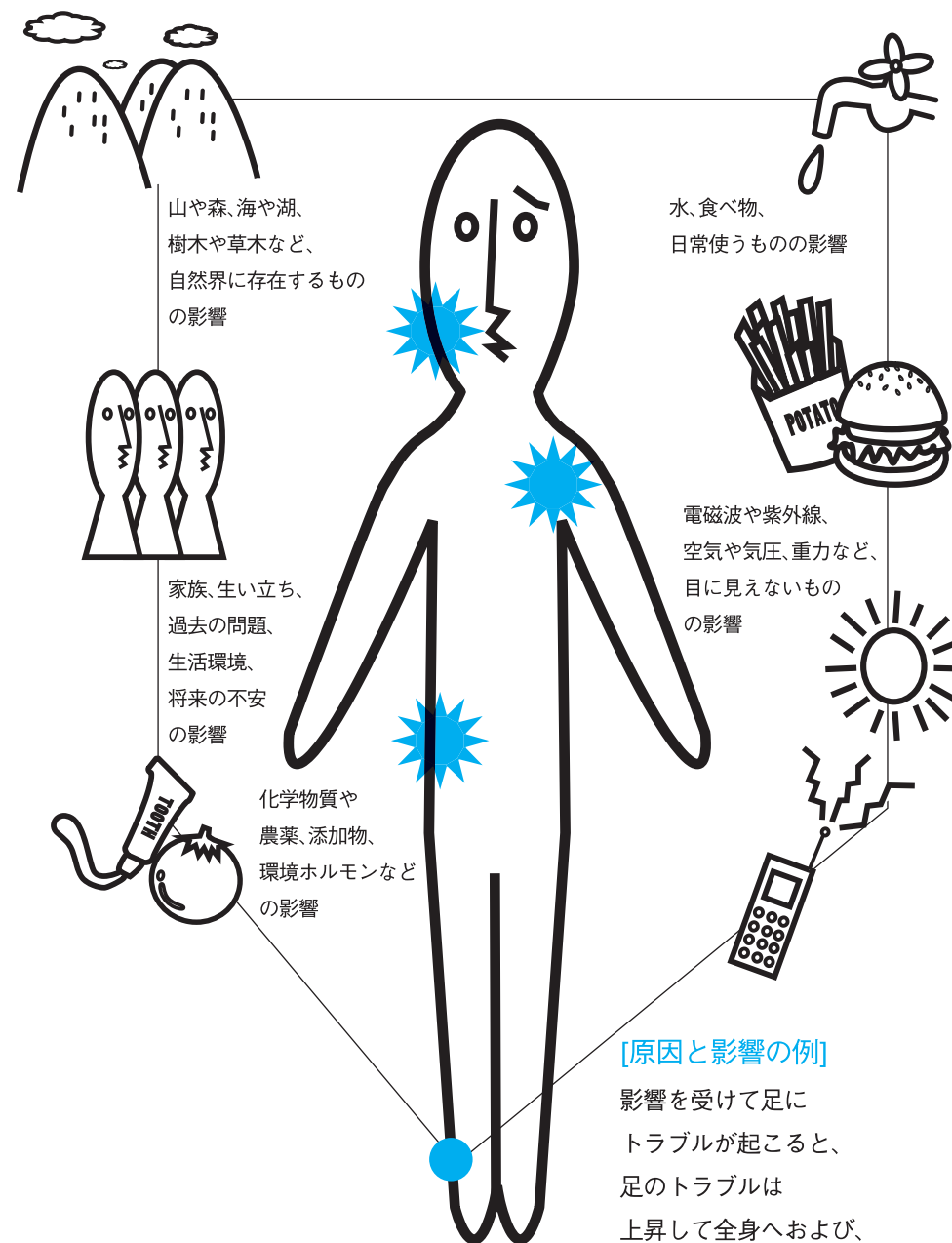


# 原因は、あなたの体の外にあります。

## その原因は何でしょう？

それは、外界のあらゆるものからの影響です。

人は日常生活の中で、あらゆるものから影響を受けています。それにより、身体にトラブルが起こり、「口の中の症状」や「全身症状」として現れるのです。このトラブルは心や精神にも影響します。「落ち込みやすくなる」「イライラする」「感情的になる」「落ち着きがなくなる」「集中力がなくなる」等の気持ちの変化は、まさにその現れです。また、顔や体のむくみやたるみを起こし、容姿の悩みの基にもなります。どんなものからの影響を受けて、それが身体のどこにトラブルを起こし、どんな問題を起こすのかは、人それぞれ違うのです。



## [原因と影響の例]

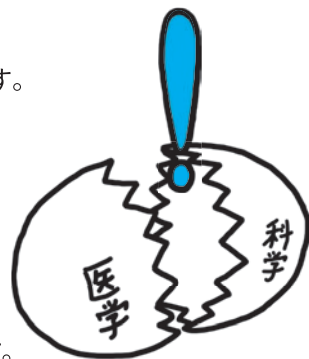
影響を受けて足にトラブルが起こると、足のトラブルは上昇して全身へおよび、口腔や脳にまで達します。

# 病気や症状は、影響を受けたことの結果です。

その人の病気やその症状は、  
さまざまな影響を受けた結果として起こっています。  
それは医学的に解明できることではありません。  
医学で診る限りは根本原因を突きとめることは  
多くの場合できず、対症療法にしかならないのです。

## 医学や科学にとらわれなくて、可能性を追求してみましょう。

外界の影響を考える時に、最初に考えるべきは「地球に生きていることで起こる現象」です。  
それによって起こる病気や症状はたくさんあります。  
それらは、医学や科学ではまだ解明されていないものばかりです。  
「どこに行っても良くならない」「原因が分からないと言われた」  
「少しでも可能性があるのならその方法を知りたい」  
という人は、医学や科学とは違う考え方をしてみてもいいのではないでしょうか。



では  
地球に生きていることで起こる現象とは  
どんなものでしょう

例として

「重力の影響」

や

「重心の浮き・沈みの影響」

があります。

## 重力の影響

体を傾げるだけで良くなることがあります。

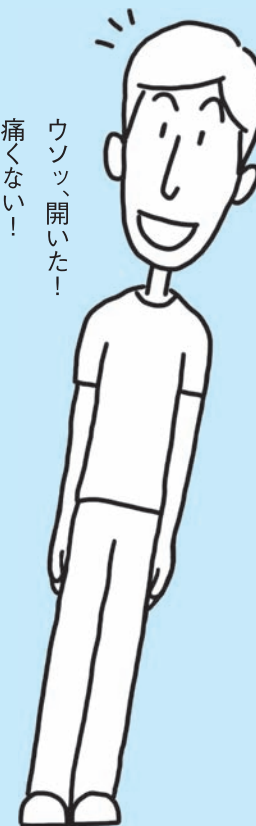
例えば、顎関節症の場合・・・

痛くて口が  
開けられません・・・



体を傾けると

ウソツ、開いた！  
痛くない！



体を傾けた瞬間、症状が改善することがあります！

どうしてこんなことが起こるのでしょう!?

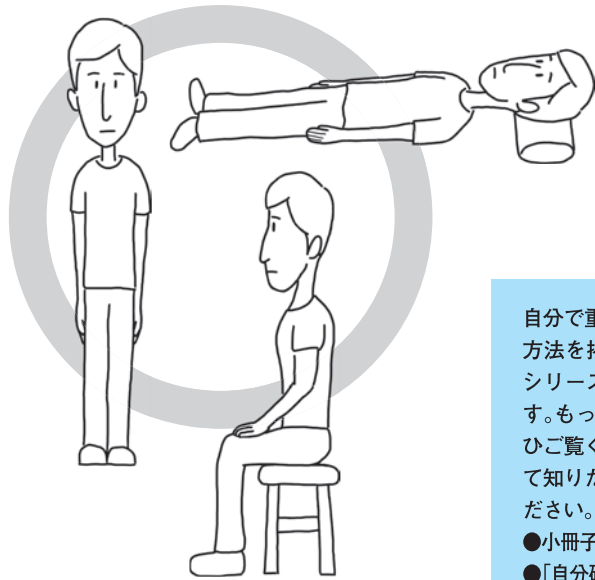


## 重心の浮き・沈みの影響

あなたは、浮いている？ 沈んでいる？

体を傾けて良くなったのは、  
「重力バランス軸」という体の軸がずれていることで  
発生していたトラブルが解消したからです。

地球上では誰もが重力の影響を受け、  
どのような姿勢においても必ず体の一部は地に接しています。  
その接しているところ(骨)を、支持骨と言います。  
支持骨にトラブルが起こると重力バランス軸にずれが生じ、  
全身に影響してさまざまな症状を引き起こします。  
体をある方向に傾けて重力バランス軸が正されると、  
体のシステムは正常になり症状も改善するのです。



自分で重力バランス軸を調整する  
方法を掲載した書籍「自分で治す  
シリーズ」を当院に用意していま  
す。もっと詳しく知りたい方はぜ  
ひご覧ください。また、体験を通し  
て知りたい方は勉強会にご参加く  
ださい。

●小冊子・書籍のご案内・・・29ページ

●「自分研究」プレセミナー

開催のご案内・・・・・・・・・・30ページ

こんな症状はありませんか？

- 肩こり・首こり
- 息切れ・胸の圧迫感・動悸
- ほてり・のぼせ
- めまい・物が二重に見える
- 耳鳴り・難聴・耳のつまり
- 自律神経失調と言われた

A

- 下半身のむくみ
- 眠れない
- お腹が張る、便秘
- 下半身が重い
- 鬱症うつと言われた

B

こんな状態になっていませんか？

- 現実逃避するようになる
- 感情的になる
- しょっちゅう物忘れをする
- 注意力が散漫でミスが多い
- 頭が回らないと感じることが多い

A

- 落ち込みやすい
- 引きこもりがち
- 人のことがとても気になる
- 何をするのも面倒
- ちょっとしたことでもいらいらする
- 人から責められているように感じる

B

## こんなさまざまな現象と どう付き合えばいいのでしょうか。

**A** にチェックが多かった人は、  
浮いているかもしれません。

**B** にチェックが多かった人は、  
沈んでいるかもしれません。

「浮いている・沈んでいる」とは  
地球上で日常的に起こっている現象で、  
人の肉体や精神に、深く関わっています。

「重心の浮き・沈み」とは、地球に棲んでいる限り誰もが影響を受ける現象で、  
それが肉体や精神に変調をきたすのです。病院ではそれを病気と  
診断するでしょう。しかし実は病気ではなく「重心の浮き・沈み」の影響による  
症状は医学的に治療しても良くならないのです。

この現象が肉体や精神に影響を及ぼしてトラブルを起こし、  
人間関係や仕事、家庭生活、さらには人生にまで、  
悩みや苦しみをもたらすことがあります。

「もしかしたら自分は浮いている(沈んでいる)かも…」と

思い当たることはありませんか。

「重心の浮き・沈み」による影響を

コントロールするのは、

容易ではありませんが可能です。

いつも健康で前向きに、

幸せに生きていくためには、

この現象とうまく付き合っ

ていくことが大切です。

自分で重力バランス軸を調整する  
方法を掲載した書籍「自分で治す  
シリーズ」を当院に用意していま  
す。もっと詳しく知りたい方はぜ  
ひご覧ください。また、体験を通し  
て知りたい方は勉強会にご参加  
ください。

●小冊子・書籍のご案内…29ページ

●「自分研究」プレセミナー

開催のご案内……………30ページ

自分にどう影響しているのかを知ることです。

まずは「地球に生きている」ということで必然的に起こる  
さまざまな現象を知ることです。

そして、それらの現象が

自分にどう影響しているのかを知ることです。

そうすれば自分に起こっている病気や症状、

トラブルの解決法は見つかるはずですよ。



## 自分の解決法をどうやって探すの？

あなたが「痛い」「辛い」「悩んでいる」という状況にある時、

その原因や解決法はどうやって探すのでしょうか。

本を読んだり、インターネットで調べたり、

あるいはテレビやラジオの情報もあります。

しかし、それらは参考にはなりますが、

ずばり自分自身への答えにはなりません。

一般論としての情報は、自分のための回答にはならないのです。

では、あなたの知りたい答えはいったいどうやって…？

## 自分への答えは、 自分の脳の中にあります。

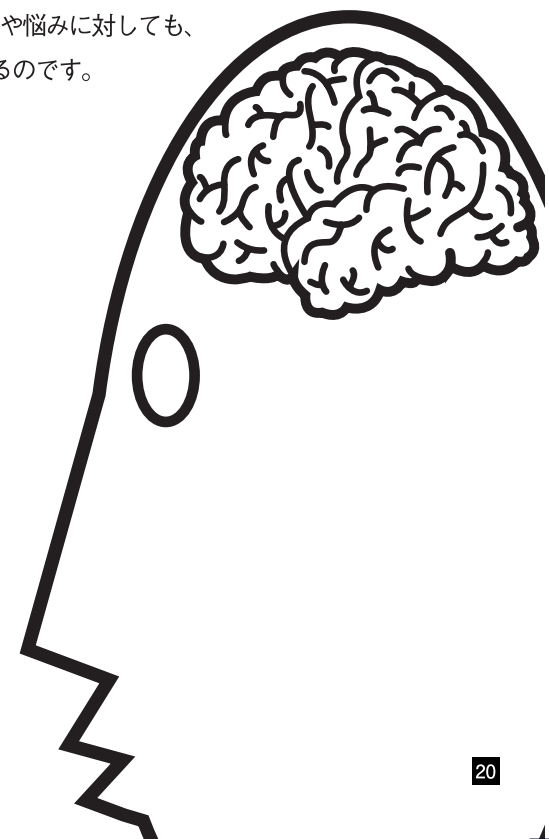
実は、自分に関するすべての情報が貯蔵されているところがあります。  
それは、自分の脳です。  
近年、さまざまな分野で脳に関する研究が行われています。  
脳の解明は永遠のテーマであり、  
それはすなわち「人を知る」「自分を知る」ことに繋がります。  
しかし、現代の医学や科学ではまだほんの一部しか解明されていません。  
つまり脳の可能性は、まだまだ未知数なのです。  
そんな脳の可能性を、医学や科学とは別の方向から研究して  
大きな成果をあげている人がいます。  
私が「その人研究—その人療法」のセミナーで学んだ伊東聖鎬先生です。  
伊東先生は、脳には、自身に関する過去の情報や現在の情報、  
そして未来の情報が内在し、  
体の外にも発信されているとおっしゃっています。  
イルカやクジラが遠く離れた仲間に意志を伝達するという話を  
聞いた事があるでしょう。動物は目に見えない方法で情報を発信し、  
受信しています。実は人も同じです。  
伊東先生は授乳中の赤ちゃんとお母さん達に10年以上関わり、  
「赤ちゃんが発信している情報をキャッチする方法」を指導してきました。  
その方法が「読脳法」です。

## 「読脳法」、 それは脳が用意した答えをキャッチする方法。

伊東先生は、読脳法という検査法を病気や症状の治療に応用することで、  
検査の精度を実証してきました。  
そして、医師・歯科医師、治療家等の専門家を対象に、  
35年前からその指導を行っています。  
自分が「知りたい」「必要としている」時、  
必ず脳にはその答えが用意されます。  
その答えをキャッチするのです。  
例えば、病気や症状で辛い時、その原因は何なのか、  
どうすればいいのかわかることができます。  
脳が用意する答え通りに行うことで、病気や症状が改善するのです。  
さらに、生きていくことで出合うさまざまな出来事や悩みに対しても、  
同じように自分で答えをキャッチすることができるのです。  
自分の脳の中にある答えを知ることとは  
すなわち「自分を知る」ということなのです。

## まず大切なことは、 「自分を知る」ことです。

自分を知れば、不安はなくなり、  
自分を大切に生きていけます。  
病気や症状をきっかけに、  
「自分を知ること」をスタートさせましょう。



生きていくことで起こる  
さまざまな悩みにも、  
答えは見つかります。

結婚の問題

この人でいいの？  
結婚って何？  
何のためにするのでしょうか？



恋愛の問題

男の気持ちがわからない。  
女の気持ちがわからない。



夫婦の問題

夫の浮気を許せない。  
離婚したい。  
セックスレスです。  
...どうしたらいいでしょう？



妊娠中の問題

なぜ足がつるのでしょうか？  
お腹がはるのでしょうか？  
逆子をどうやって直せばいい...？



授乳中の問題

なぜ泣くのでしょうか？  
なんでおっぱいを飲まないの？  
病気なのでしょうか？

親子の問題

反抗期の子供にどう対応すれば...？  
親のことが許せない。



解決できない過去の悩み  
トラウマ  
人に対する恨みが消えない。  
自分の生い立ち。

将来の不安  
経済の不安。  
先が見えない。  
老後の不安。

仕事の問題

上司や部下と  
コミュニケーションがとれない。  
仕事の能力が上がらない。  
もっとやりがいのある仕事がしたい。  
会社が倒産。

人間関係の問題

人とうまく付き合えない。  
人がこわい。  
自分の気持ちをうまく伝えられない。

今の自分に対する悩み

もっと能力を上げたい。  
自分の可能性を高めたい。  
生き甲斐がない。  
劣等感をなくしたい。

人生に対する悩み

思い通りの人生じゃない。  
意味のある人生を送りたい。  
生きる目的が見つからない。

進学や進路の問題

将来何をしたいのかわからない。  
今何を学んでおけばいいのかわからない。

あらゆる悩みの答えは自分の脳の中に  
あります。  
脳の中の答えをキャッチできれば、すべ  
て自分で解決できるのです。  
その方法を勉強するのが「自分研究」で  
あり、自分の病気や症状を解消するのが  
「自分療法」なのです。

「自分の脳が用意した答えを  
キャッチする方法」を  
勉強しませんか？

病気や症状、顔やスタイルの悩み、精神的な悩み、あるいはさまざまな災難やトラブル、過去や未来の悩みや不安、人間関係の悩み…。そんなものは「無いほうがいい」「遭わないようにしたい」と多くの人は考えます。私も伊東先生のセミナーに参加する前はそうでした。しかし、生きている限りこれらから逃れることはできません。それならば、どんな目に遭おうとも、自分が納得のできる解決法を探し出せば、立ち直ることができるはずです。

これができれば、何があろうと前向きに生きていくことができます。病気や症状、悩みや災難、トラブルに振り回されないためにどうしたらいいのかを求めた時、脳が用意する答えをキャッチする方法を修得しましょう。「自分を知る」つまり「自分の脳を知る」方法を、私は伊東先生が指導するセミナーで学んでいます。そして「これは患者さんが自分でできることであり、それを指導することが、医療者の行うことです」という伊東先生の考えに共感し、当院でも多くの人に勉強できる場を提供したいと思うようになりました。



## 「自分研究」勉強会に

参加される前に

「自分研究」プレセミナーで内容を紹介しています。

これまでご案内した研究・療法は、医療を施す立場の人間にとっては、「その人研究—その人療法」であり、患者さん自身にとっては「自分研究—自分療法」ということになります。

この研究・療法に関する勉強会は1クール計10回で構成され、自分で病気や症状の原因を探し出し、改善する方法を指導します。「病院では良くならない、原因不明の症状を良くしたい」「自分や家族のケアを自分でやりたい」「他の人にもやってあげられるようになりたい」という人はぜひご参加ください。

また、勉強会前の事前案内として「自分研究とはどんなものなのか」をご紹介する「自分研究」プレセミナーを設けています。開発者の伊東先生をはじめとする講師の方々が、「地球に生きていることで起きている現象」「病気や症状の原因は何か?」「自分を知る方法」等を体験を通してご説明します。まずこちらで、研究・療法の概要をつかんでください。

さらに、小冊子や書籍も用意していますのでプレセミナーに参加する前にぜひご覧ください。発行元は、伊東先生の活動に賛同した全国の医療者や一般の人達で作る「生—システム」研究会です。ここでは、研究・療法を指導する場を全国に作るための活動も行っています。私もこの会のメンバーとして患者さんや地元の皆さんが、自分を知り、病気や症状やさまざまなトラブルに遭っても、不安なく前向きに、幸せに生きていける方法を探すお手伝いをしております。



「自分研究」プレセミナー

「自分研究」勉強会に参加される前に、どんなことを勉強できるのかを知って頂くための紹介(プレ)セミナーです。

「自分研究」勉強会

病気や症状、さまざまなトラブルが自分で解決できるようになるばかりでなく、人にもやってあげられるようになる勉強会です。



勉強会に  
参加した方から、  
こんなメッセージが  
届いています。

「生-システム」研究会の  
メンバー、青森県三戸の  
ひまわり歯科医院では  
橋本院長を中心として、  
2008年から  
勉強会を開催しています。  
そこに参加された  
患者さんの体験談を  
ご紹介しましょう。

がん再発の不安がなくなった。

工藤啓子さん 女性 七十四歳

私は平成14年に胃がんの手術を受け、胃と胆嚢を摘出しました。

手術は成功しましたが、その後も抗がん剤の投与を続けていました。副作用で食事できず体重も減ってこのままでは体がぼろぼろになると、抗がん剤の投与を中止しました。それからは再発の不安と戦いながら、食生活を変えるなどの努力をしてきました。

しかし、臓器を摘出したため腹筋も衰え、背中も曲がり歩くこともできなくなりました。

そんな矢先、知人の紹介で橋本先生が「自分の身体を自分で良くする方法を指導する」勉強会を開いていると聞き、参加しました。そこで講師の伊東聖鎬先生と出会いました。

伊東先生の話聞き、自分でできる方法を学ぶうち、自分の身体は自分で治すことができるんだという自信が湧いてきました。

そして「自分の身体は自分で良くするのだ」という気持ちを持つことこそ一番大切だということに気付くことができました。なぜ癌になったのか？ また再発するのか？ そんなことが分からず不安な日々を送っていましたが、私は「自分を知

ること」によって人生が変わりました。それからは再発の不安もすっかりなくなりました。

今では普通に歩けるようになり、私が元気になるまで家事もできるようになった姿を見て家族や周りの人も本当に喜んでくれています。地方でいち早く「自分研究」勉強会を開催し、このような活動に取り組んで来られた橋本先生はすばらしいと思います。そしてそれを指導している伊東先生の活動は奥深く、療法や検査法を多くの人に教えてあげて欲しいと思っています。

肩こり・頭痛・うつ症も  
自分で治せた

西塚美恵子さん 女性 五十一歳

ひまわり歯科に通院中、肩こりと頭痛が辛く、鬱症状で悩んでいることを相談しました。

橋本先生に距骨の調整をやっていただいたところ症状が軽減し、大変驚きました。それがきっかけで「自分研究」プレセミナーに参加しました。プレセミナーに三回ほど参加した頃には、頭痛もほとんどなくなり、鬱症状も薄れ、医師から処方された精神薬も必要なくなりました。この経験で医師に頼らず自分で自分の身体

を治せるのだという自信がもてるようになりました。

他の人にも「自分でできる」ということを教えてあげたいと思い、「自分研究」勉強会に参加しました。

おかげで、自分の身体を治すことだけではなく他の人にもやってあげられるようになりました。

このような勉強は他にはないので橋本先生、伊東先生の活動は大変有難いです。どんどんこの活動を広めて頂きたいと思っています。



「自分研究」勉強会の様子

## 小冊子や書籍のご案内

### 小冊子をさしあげます。

#### ■「自分を知る」シリーズ

人が地球で生きていることで自分に起こる数々のシステムと、そのシステムのトラブルを解消する方法をシリーズで紹介します。

#### ■「歯科医師も知らなかった」シリーズ

「生システム」という観点から見ると、口の中の症状の本当の原因は歯科医師も知らなかったことばかりです。

※小冊子は随時刊行されます。購読をご希望の方には当院から無料でお送りします。

### 書籍案内をお届けします。

「生システム」研究会が発行する書籍のタイトルや内容がひと目でわかります。

※書籍の見本は院内においてあります。  
お気軽にお越しください。

### 資料のご請求は

小冊子、書籍案内、講演会の案内をお送りします。

下記のいずれかの方法でお申し込みください。

- 同封のハガキ
- 電話
- QRコードによるネットアクセス
- 下記ホームページ

[http://www.cw-system.jp/team/kojima\\_atsushi/](http://www.cw-system.jp/team/kojima_atsushi/)



## 「自分研究」プレセミナー 開催のご案内

### 「自分研究」プレセミナー 開催のご案内

#### ■こんなことを紹介します

- ・自分研究とは？
- ・地球で生きていることで起こる現象
- ・病気や症状、トラブルの原因等

#### ■参加費:3,000 円

※日程・会場の詳細につきましては、ご案内資料を参照いただくか、またはお電話にてご確認ください。

講師 伊東聖鎬 (いとうせいこう)

コスミックウィズダム代表/「生システム」研究会 代表  
社会人生研究者/「生システム」研究者

1947年京都生まれ。小学校六年生の時、いじめが原因で二度の自殺を図る。以降、「自分は何で生まれてきたのか？人とは何？生きるとは何？」の答えを求め続ける。

高校卒業後、人と社会を知るために全国を放浪。25歳で姪の知的障害をきっかけに医療の道に入る。

筋肉反射検査法、脳反射検査法を開発し、「重力バランスシステム」を発見。さらに「生システム研究」「社会人生研究」を進め、既存の概念にとらわれない自分らしく幸せに生きていくためのシステムを構築中。現在、医療者を対象としたセミナーや、講演、指導を全国に展開中。

### 勉強会の開催を希望するグループ・団体へ

学校や職場のサークル、スポーツ団体、親子の会等で、勉強会の開催を希望されるグループはご相談ください。

### 個人講義を希望される方へ

プレセミナーの日程が合わない、あるいは開催日まで待てないという方には、当院の院長が個別に講義いたします。講義時間は1～2時間程で完全予約制となります。日程や料金等はお電話でお問い合わせください。

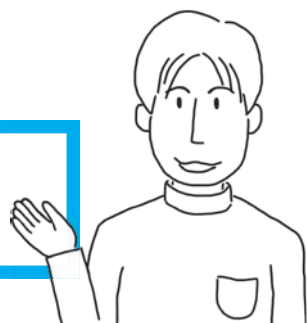
## 新しい診療システムのご案内

2011年から「自分のことは自分でやろう」を  
ベースにした診療システムに変わります。

「自分研究」勉強会においての  
指導を中心といたします。

人まかせの医療から  
自分でできる医療へ

「自分研究」勉強会



自分でやっても十分な効果が  
上がらないという人は、  
私があなたに協力します。

あなた研究(療法)

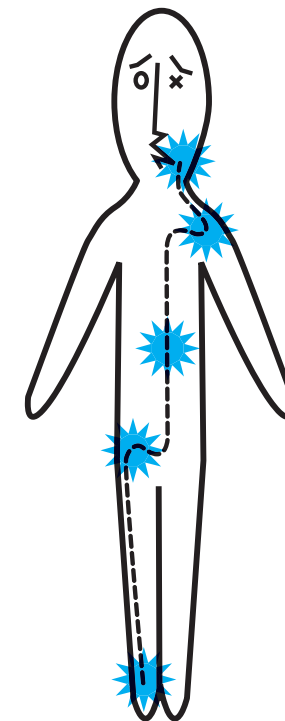
### ● 歯科の治療は？

あなた研究(療法)を行った上で、  
必要ならば歯科処置を行います。

## 当院の歯科治療の特徴

### 真の原因除去療法

口の中の症状は、多くの場合、体を支えている  
骨(支持骨)のトラブルが原因で起こります。  
たとえば足の支持骨にトラブルが起きると、  
そのトラブルは身体を上昇し、関節・筋肉・内  
臓等のあちこちに波及し、ついには口の中にも  
異常を起こすのです。つまり口の中に症状  
がある時、全身にも異常が起きているのです。  
自覚症状がなくても、その異常は今後重篤な  
病気を発症させる可能性があります。です  
から、口の中の患部だけを処置するのではなく、  
その症状をヒントにそのおもとの原因を探  
し出し、全身の異常の原因も同時に改善させ  
ることが重要です。これは真の原因除去療法  
であり、予防法でもあります。



### 口の中はセンサー

口腔は体の異常をキャッチしやすい部位で  
す。ですから、早期に全身の異常を見つけ出  
しやすいのです。つまり「口の中はセンサー」  
であり、歯科医師はこのセンサーを十分に活  
かすことが大切だと私は考えています。



### 原因を解消した上での歯科処置

おもとの原因を解消した上で、詰める、か  
ぶせる、入れ歯を作る等の歯科的な処置が必  
要な場合は行います。



# 本冊子をご覧になった医療関係者の方へ

医療の常識からすると、  
本冊子の内容はわかには信じられないと思います。  
私も最初はそうだったのです。

医療者であれば、西洋医学を始めとする従来の治療法では対応できない患者さんがいることを、誰もが知っています。そんな患者さんの一番の望みは「どんな方法でもいいから良くなりたいたい」なのです。

他人に効果がある治療でも、自分に効果がなければ何の意味もありません。エビデンスがあろうとなかろうと関係ないのです。もし、ご自身やご家族がそんな状況になれば、やはり同じように考えるはずです。

私はこの療法を学ぶ中で、医学的なアプローチで解決できない病気や症状は、現代の医学では扱えないものであると知りました。病気や症状という形で現れているからといって、現代医学で処置できると思うことが間違いだったので。今まで、そういうことが分からなくて患者、医療者共に苦しむ結果となっていました。

患者さんを何とか良くしてあげたいと考える医療者ほど、自分を責めていると思います。しかし、それは間違っていると思うのです。その患者さんは医学的な対応では良くならないカテゴリーの人だったのです。

もし、そんな患者さんでお困りの医療者がおられましたら、ご連絡ください。私は医療者の皆さんと協力しながら、患者さんにとって一番いい方法を探し出すという体制をとっていきたいと思っています。興味をお持ちになりましたら、一度勉強会にご参加ください。

私は、患者さんの求めに対して応えていける医療を、多くの医療者と協力し作っていきたいと考えております。

—小嶋歯科医院からのご案内—  
小嶋歯科医院は変わります。

「自分研究—自分療法」を提案します。

2010年8月1日 第1刷発行

文責 小嶋 敦

監修 「生—システム」研究会

発行所 CW 出版

〒160-0023 東京都新宿区西新宿6丁目15-1  
セントラルパークタワー  
ラ・トゥール新宿 705号  
TEL : 03-6302-0080

その人研究

その人療法

あなた研究

あなた療法

自分研究

自分療法

社会人生学

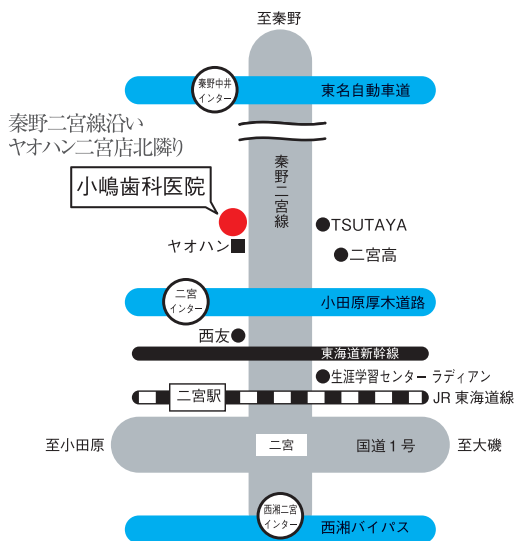
生—システム

重力バランス軸調整療法

重力バランスシステム回復療法

は、伊東聖鎬(金 聖鎬)の登録商標です。

※落丁・乱丁本はお取り替えいたします。



■住所：神奈川県中郡二宮町一色 3021 ■電話・ファックス：0463-72-3982

- 車：小田原厚木道路二宮インターより5分  
東名秦野中井インターより10分  
西湘バイパス二宮インターより10分
- バス：JR 二宮駅・小田急秦野駅より岩崎、西谷戸橋下車1分